

# 府中市 次世代育成支援行動計画

後期計画

ひとみ輝け！ 府中の子どもたち  
心豊かな子どもがいきいきと育つまち

平成22年4月

府中市

# 府中市 次世代育成支援行動計画

後期計画

平成22年4月

府中市

# はじめに

## 次代を担う子どもたち 一人ひとりの幸せを願って



子どもたちの明るい笑顔は、いつの時代でも幸せの象徴であり、私たち大人が未来にわたって守っていかなければならない、大切なためものです。

本市では、子どもたちの健やかな成長を願い、子育て環境を充実するため、平成17年3月、次世代育成支援対策法に基づく「府中市次世代育成支援行動計画 前期計画」を策定いたしました。この計画は、法律が定める計画期間10年間の前半5年間の計画期間とする計画でした。

また、平成17年3月に開設した子ども家庭支援センター「たっち」は、他市に類例をみないほど、大変多くの利用者で賑わっており、本市の子育て支援策を強く印象づけるものとなりました。

社会的には、少子化が進み、子育て環境が厳しいといわれる今日、本市は前期計画を基に、子どもと子育て家庭を支えるための様々な施策を着実に、そして積極的に展開してまいりました。

具体的には、多摩地区の市では初めてとなる中学生までの医療費の全額助成、放課後子ども教室の全校実施、待機児解消に向けた保育施設の拡充による定員枠の拡大、小・中学校校舎の耐震化の推進など、様々な分野で総合的に、きめ細かく取り組んでまいりました。

さて、前期計画策定から5年が経過し、その間、子どもと子育て家庭を取り巻く状況も変わってきております。また、市民意向調査などから新たな課題も見えてまいりました。これからは、子育てを社会全体で支援していく気運を盛り上げ、子育てしやすい環境づくりがより一層求められているといっても過言ではありません。

このような状況を踏まえ、後期計画では前期計画の骨格をなす体系そのものから見直しを行いました。「生まれる前から」「子どもの視点」を基調とし、「ひとみ輝け！府中の子どもたち 心豊かな子どもがいいきと育つまち」の実現に向け、地域・行政・企業・NPO等、社会全体で子育てを支援できるよう、全力で取り組んでまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたっては、府中市次世代育成支援行動計画推進協議会委員の皆様には2年余にわたりご検討いただくとともに、市民の皆様からは市民意向調査並びにパブリック・コメント等を通じてご意見をいただきました。改めて、心から感謝申し上げる次第でございます。

平成22年4月

府中市長 野口忠直

# 目次

## 第1部 計画の策定にあたって

1

<b>I 計画策定の趣旨</b>	2
1 背景と目的	2
2 計画の位置づけ	5
3 計画期間	5
4 計画の対象となる人口	6
5 計画策定体制	6
<b>II 府中市における子どもと子育て家庭を取り巻く状況と課題</b>	7
1 少子化の状況	7
2 世帯人員数と世帯構造	12
3 就労の状況	13
4 就学前児童の状況	16
5 府中市における子どもと子育て家庭を取り巻く状況からみた課題	17

## 第2部 計画の基本的な考え方

19

<b>I 基本理念・基本目標</b>	20
<b>II 基本方針</b>	21
1 子どもの幸せをまず基本に考え、子どもがいきいきと健やかに育つ環境をつくります	21
2 親が親として育ち、安心して子育てができるように支援します	21
3 子ども・子育てを見守り、はぐくみ、支える地域をつくります	22
4 社会全体で子育てを支援し、子育てを応援していく意識づくりに努めるとともに、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進します	22

## 第3部 計画の体系と目標・施策内容

25

<b>I 計画の体系</b>	26
<b>II 目標・施策の内容</b>	27
<b>目標1 子育て不安の解消</b>	27
施策 (1)情報提供体制の充実 (2)子どもと家庭に関する相談体制の充実 (3)児童虐待への対応と防止	
<b>目標2 地域における子育て支援</b>	47
施策 (1)子育て中の親子が集い、交流できる場の整備 (2)地域のつながりの構築 (3)相互支援活動の活性化 (4)子育て家庭の経済的負担感の軽減	
<b>目標3 保育サービスの充実</b>	61
施策 (1)保育所待機児童の解消 (2)多様な保育サービスの提供 (3)保育所サービスの質の向上 (4)幼児教育の推進 (5)幼児教育の経済的負担感の軽減	
<b>目標4 母と子どもの健康支援</b>	75
施策 (1)健康に関する情報提供及び啓発 (2)妊娠期からのこころとからだの支援 (3)健康診査や予防接種の実施 (4)休日・夜間診療の実施	

<b>目標5 ひとり親家庭への支援</b>	86
施策 (1)自立を支援するための情報提供・相談 (2)日常生活への支援 (3)自立や就業への支援 (4)ひとり親家庭の経済的負担感の軽減	
<b>目標6 障害のある子どもと家庭への支援</b>	96
施策 (1)障害への理解・啓発の促進 (2)障害に関する相談 (3)日常生活への支援 (4)早期発見と早期療育の充実 (5)障害のある子どもがいる家庭への経済的負担感の軽減	
<b>目標7 次代を担う人の育成と教育の充実</b>	110
施策 (1)健全育成に関する情報提供及び啓発 (2)児童生徒及び保護者等への相談の充実 (3)次代を担う人の育成に向けた学校教育の推進 (4)特別支援教育の充実 (5)地域の教育力の活用 (6)放課後児童の健全育成 (7)多様な体験機会の提供 (8)地域における活動の支援 (9)保護者の経済的負担感の軽減	
<b>目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進</b>	145
施策 (1)ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発 (2)男女の協力による子育ての推進 (3)市内の企業・職場への働きかけ	
<b>目標9 安全・安心のまちづくりの推進</b>	151
施策 (1)ユニバーサルデザイン(特に子どもの立場に立った視点)の推進 (2)安全対策の推進 (3)居住への支援	
<b>Ⅲ 保育サービス等の目標事業量</b>	159
1 人口推計	159
2 各事業の目標事業量	160
<b>Ⅳ 評価指標の全体像</b>	161
<b>第4部 計画の推進にあたって</b>	
167	
1 計画の点検・評価と推進体制	168
2 市民・地域・企業との協働による推進	168
3 庁内体制の整備	169
4 国、東京都、近隣市との連携	169
<b>資料編</b>	
171	
1 府中市次世代育成支援行動計画推進協議会委員名簿	172
2 府中市次世代育成支援行動計画推進協議会開催経過	174
3 次世代育成支援に関する市民意向調査の概要	176
4 用語集	179
5 事業索引	192

## 計画書の見方

- 年代表記は元号を用いています。
  - 人名については原則として敬称を略させていただいています。
  - 「\*」のついた用語は、用語集に説明を掲載しています。
  - 調査結果のグラフについては以下の点に注意してください。
- ①回答は、それぞれの質問の回答者数を母数とした百分率(%)で示しています。それぞれの質問の回答者数は、全体(各調査区分の有効回答数)の場合はN (Number of case)、それ以外の内数等の場合にはnと表記しています。
  - ②%は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。なお、回答者が1つを選択する質問(単数回答)で合計が必ずしも100.0%(例えば99.9%、100.1%)にならない場合は、100.0%になるように調整している図表があります。
  - ③回答者が2つ以上回答することのできる質問(複数回答)については、%の合計は100%を超えています。
  - ④本文及びグラフ中の選択肢の表現は一部省略されています。